

## 高白鮭(Coregonus peled)紹介

**学名:** Coregonus peled (Gmelin, 1789)

**英語名:** Northern white fish

**中国名:** 高白鮭 (ガオ・バイ・グイと発音します)

**分類:** サケ科      コレゴヌス亜科 (Coregoninae ciscoes)      Coregonus 属  
(サケ科は、「コレゴヌス亜科」、「カワヒメマス亜科」、「サケ亜科」の3亜科で構成されている)



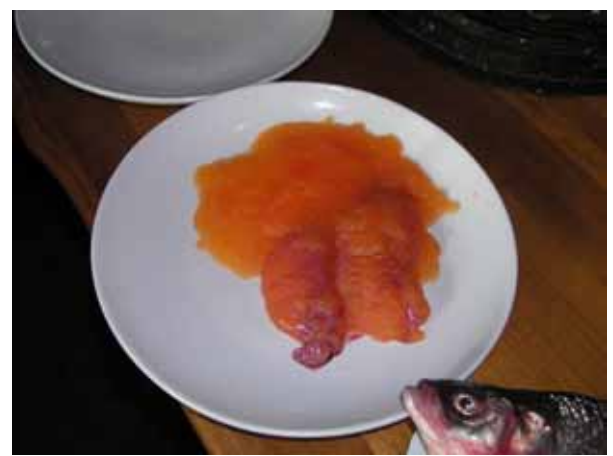
成魚 オス



成魚 メス



卵



卵

**分布:** Coregonus 属は、天然では、東部ヨーロッパ~シベリア、北アメリカ等の北緯 50 度近辺から、それ以北の地帯に分布する。C. peled は、ロシア Mezen の湖沼や河川から極東シベリアの Kolyma 川までと、バルト海沿岸に分布する。現在は移植により北部ヨーロッパ諸国に広く分布し、各国とも人工孵化放流による増殖事業を行っている。日本では長野県の立岩湖、松原湖、柳久保池、中綱湖、白樺湖の 5 ヶ所に放流されている。本亜種以外に同属では C. mukusun が日本へ移入され、現在飼育されている。

**形態:** 頭部から背部にかけては青みを帯びた暗灰色で、体側から腹部は全体に銀白色である。体はやや側扁している。口は小さく、あごには歯がないが、舌にはかすかに突起状の歯が認められる。背鰭と尾鰭の間に小さな脂鰭が存在する。産卵期の親魚は雌雄ともに、側線から腹部にかけての鱗が隆起し、さわるとざらついた状態になる。

**習性：**湖沼性の魚で、22～23 以下の低水温を好む。日中は深層を遊泳し、夜間に表層へ浮上することが多い。ミジンコなどの浮遊動物やヨコエビ類を主食とし、成長すると底生動物や小魚をとることもある。10 以下の水温でもよく摂餌する。

満3年で全長約40cmに成長し、秋から冬に湖岸近くの小石の間に産卵する。卵の大きさは約2mm、体重1kgの親魚で2～4万粒、孵化した仔魚の全長は約10mmである。

産卵適水温は3～6 で、孵化適水温は低く6 以下である。産卵後から発眼までの積算温度は、約140 日、孵化までは、350 日。

成長は、1年で80～120 、2年で300～500 、3年で700～1,500 になり成熟する。5年で約3kg位になる。文献によると、原産地方では最大12kg程になるとの記述もある。

天然では、湖沼等の面積の広い止水域に棲息し、濁り等に敏感で影響を受けやすいものの、寒冷地の水温変化の大きな湖沼等、餌の少ない水域でも棲息できる。

**その他：**長野県で「シナノユキマス」と呼ばれ養殖されているものは、1975年（昭和50年）に、チェコスロバキアから、長野県水産試験場佐久支場に移入された本種（ペレド C.peled）と、マレーナ（C.lavaretus maraena）で、他の地域でも、北海道「キタノユキマス」、福島県「会津ユキマス」、愛媛県「ヒメノウオ」などの名称で養殖されている。

サリム湖のものは、1998年にロシアより移入し、その後、自家採卵し、増殖させたもので、2003年に魚としては初めての有機食品<中国国家規格AA绿色食品>資格を取得。

自治区水産科学研究所の調査によると、湖の栄養具合や環境から試算すると、継続的且つ安定的に可能な生産量は、年間300～500トンとの事である。



绿色食品（AA）証明書



有機食品証明書



## サリム湖（賽里木湖）

モンゴル語で「サイラムノール」、青灰色の湖という意味。中国新疆ウイグル自治区伊犁地区の天山山脈山中の標高2,071mに位置する高山湖で、総面積475km<sup>2</sup>、平均水深44m（最大水深91m）、透明度13m、塩分濃度0.3%、流入、流出する河川は無い。

元来、魚は棲んでおらず、動物は、動物プランクトンやヨコエビ等の小さな節足動物が棲むのみで、それを目当てに夏季は白鳥や雁やカモメなどの渡り鳥がやって来る。

周辺の草原は、モンゴル族やカザフ族の一大放牧地となっている。風光明媚な観光地で、特に初夏はすばらしく、周囲の高山に雪が残る中、緑の草原に高山植物が咲き乱れ、その中を遊牧民が放牧している様子は絶景である。

## 調理例

<調理：中国新疆ウルムチ市 日本料理「平政」>



お造り



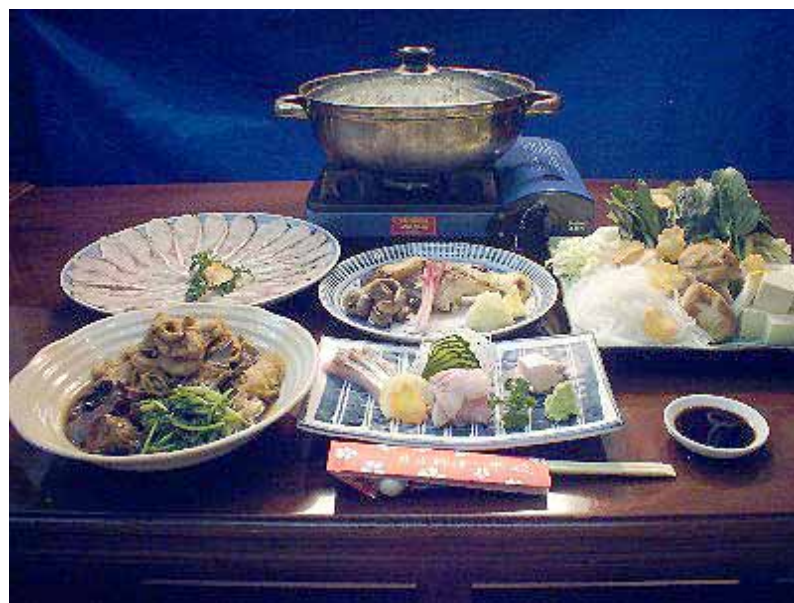
しゃぶしゃぶ



塩焼き



煮付け



高白鮭セット